

三年目の囲碁クラブ

渡辺 伊久夫

元気にナルク活動の支援、奉仕を支える人達で盛り上がっている囲碁クラブの近況報告をします。クラブ員 10名、増田リーダーを含め、有段者 2名、1～5級 4名、初心者 4名でリーダーの熱心な指導で宿題あり、詰碁ありそして対局と、月 2 回ではあるが内容のある集いになっている。

日頃あまり「深く考える事を怠る年代」に少し深読み、相手の出方、戦略を考えるなど意識した時間を持つ。そして勝負に拘らないと言いつつ、負けると悔しい・・・これが「次回は勝つぞ!」「1手でも2手でも先を考えさせる」「目も輝き指がしなる」など上達と活力のキーワードなのです。

いつも忙しくナルク活動に力を入れている囲碁メンバーも合間のお茶時間には愚痴も出るが、それを「楽しい雰囲気」にする達人が何人もいる。3年目を迎えはっきり言えるのは「皆さん着実に腕を上げている」ことです。

「考える力」が目を輝かせ「笑い声」が元気を醸し出している。これからも・・・。

